



▲市議会HP



▲録画配信
(6月9日一般質問)



福祉

なかやま ひろこ
中山 廣子 議員 (公明党)

今後のヤングケアラー支援は

答弁…いち早く気づき、支援につなぐ

問 ヤングケアラー支援について、早期発見や継続的な実態把握をどのように進めるのか。

また、チェックリストや相談ツールの活用など、子どもが声を上げやすく支援につながる環境をどのように整備するのか伺う。

答 子どもにとって身近な地域への周知啓発を継続するとともに、学校現場における気づきを促すなど、日常的な実態把握と早期発見に努める。また、相談窓口カードの配布を通じて、子どもと周囲の大人の双方が気づきやすくなる工夫を講じていく。

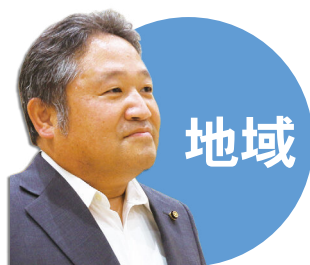


手続 おくやみ対応の充実を

答弁…おくやみ手続きナビの導入を進める

問 死亡後の行政手続きは、ご遺族にとって大きな負担となる。手続きの現状と支援体制はどうなっているのか。また、必要な手続きや持参書類をパソコンやスマートフォンで事前に確認できる「おくやみ手続きナビ」や「おくやみ窓口」の導入について考えを伺う。

答 おくやみハンドブックを配布するなど、きめ細かな説明をしている。「おくやみ窓口」は、業務分担の整理や人員配置、設置場所、システム改修などの解決すべき課題が多く、現状での設置は難しい。「おくやみ手続きナビ」は、導入に向けて準備を進めていく。



地域

しまだ ゆういちろう
嶋田 友一郎 議員 (白和)

DX推進で地域コミュニティの持続を

答弁…DX化の推進を調査研究していく

問 市民と行政を結ぶ地域コミュニティの核として自治会や行政区組織が果たす役割は大きい。近年、役員等のなり手不足や負担増の課題がある。持続可能な地域コミュニティ組織とするため、地域交流アプリや電子回覧板の導入等、DX化を推進してはどうか。

答 電子回覧板等の導入は、地域住民の負担軽減が期待されるが、紙媒体の希望者もいる。市は、地域住民の負担を軽減しつつ、情報伝達が円滑化し、地域住民が密接につながるよう、行政区長会等と意見交換しながら、DX化の推進を調査研究していく。



メニュー画面 問い合わせ(掲示板)

さいたま市で導入が進む
地域交流アプリ(画面)



▲録画配信
(6月10日一般質問)

農業 農業生産の基盤整備に続く地域活性化は

答弁…農業生産の基盤整備を支援していく

問 本市の認可によるイチゴノオカプロジェクトは、農業振興とそれに伴う地域活性化の進展が期待できる。その進ちょく状況は。また、柴山沼周辺は、本市の計画でにぎわい拠点に位置付けられる。地域の活性化につながる事業展開を望むが、進ちょくはいかがか。

答 イチゴノオカプロジェクトは、AIを活用して生産されたイチゴの出荷が始まり、地域のにぎわいを創出する施設整備も進めているところである。また、柴山沼周辺の農地の土地改良を目的とした協議会が設立された。市も両事業の実現に向けて支援していく。